

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立狭山経済高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	専門学科の趣旨や進学希望のニーズが多いことを踏まえ、目指す学校像が設定されている。生徒のキャリアデザインを見据えて、高校卒業だけでなくその後の将来設計につながることを意識した学校像を設定するなど、学校の特色や強みを更に生かしたものにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	前年度のものに「進路指導体制の充実」という文言が加えられ、学校の中期的な目標として、目指すところが明確に位置付けられた。重点目標の4など、やや抽象的で分かりにくいものがあるので、目指す学校像との関連性をより意識したものにしていただくことが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	組織体制が整備され、学校自己評価システムに基づく取組が動き始めている。分掌・学年・教科の間の連携を図り、よく議論をしながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備し、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体の目標に基づいて、分掌・学年・教科が目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。方策の達成状況が確認しにくいものがあるので、生徒の変容などに着目した指標を設定し、評価項目・方策との連鎖をより明確にして取組を検証することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状を踏まえた学校経営の方針を持ち、管理職がよく連携して取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、教科を越えて共通理解を深め、課題の解決に向けて学校全体でよく議論しながら、組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者対象アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。アンケート結果等を詳細に分析し、教職員間で共有して、方策の見直しや指標の精選を検討するなど、次年度のより具体的な取組につなげ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			